

科目名	共生社会形成論Ⅳ（現代社会論）	
担当者	近藤 諭 / KONDO, Satoru	
科目情報	法ビジネス / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	本講義は、「近代化」をキーワードに、現代社会で起こる事象をとりあげ、考えるための知識の習得を目的とする。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業人として、社会で生きる個人として、広い視野が獲得できる。 ・マスコミなどの報道される事象の背景を想像できる視点が身につけられる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 講義の進め方 (2) 近代化による社会の変容：社会学の役割 (1) (3) 近代化による社会の変容：社会学の役割 (2) (4) 近代化による社会の変容：コミュニケーションと社会 (1) (5) 近代化による社会の変容：コミュニケーションと社会 (2) (6) 近代化による社会の変容：近代家族と世帯構造の変化 (1) (7) 近代化による社会の変容：近代家族と世帯構造の変化 (2) (8) 近代化による社会の変容：近代家族と世帯構造の変化 (3) (9) 近代化による社会の変容：情報化がもたらす社会の変化 (1) (10) 近代化による社会の変容：情報化がもたらす社会の変化 (2) (11) 近代化による社会の変容：グローバリゼーションとリスクの偏在化 (1) (12) 近代化による社会の変容：グローバリゼーションとリスクの偏在化 (2) (13) 日本の近代化 (1)：高度成長と産業構造の変化 (1) (14) 日本の近代化 (2)：高度成長と産業構造の変化 (2) (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布される資料を前もって読み、質問・疑問点を作っておくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	日常聞き慣れない用語が頻発するので、その意味や内容を理解しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に指定しない。講義中で配布するプリント（ハンドアウト）を用いる。	
成績評価方法と基準	授業で扱う、日本社会の変化についての理解度が達成できたと認められれば合格とする。評価方法レポート60%。授業中で課す課題40%の割合で評価する。配付資料や参考書の文章を「写した」ようなレポート内容は評価しない。	
備考		